

第5回市民協働推進チームミーティングを11月15日に開催しました。今回は農政課振興係からの紹介で藍栽培をしている松由さんの仕事場を訪問しました。

11月15日



松由拓大(まつよしたくひろ)さん

NHK大河ドラマで放送された『青天を衝け』で藍栽培を指導した矢板市安沢在住の藍農家松由拓大さん。

NHKと協力して「藍の種プロジェクト」（ロケ地で育てた藍の種を渋沢栄一ゆかりの地で暮らす子どもたちが栽培し、収穫する取組）を実施し、矢板市安沢小学校での種植えと藍染体験は、NHKで紹介されている。

松由さんは、栃木県を藍の栽培で日本一にするために活動中。藍の栽培面積は、全国で40ha程度で、日本一の徳島県で14ha。栃木県内で15ha栽培できれば日本一になれると話していました。

自宅での栽培以外の多くは、さくら市(穂積地区、和みの杜等)で栽培し、藍の粉碎、乾燥もさくら市(匠屋のハウス)で行っている。今年からは、染料(薬=すくも)づくりをセブンハンドレッドで行う予定。その他にも「さくら未来塾」で藍染め体験や清風園や桜花、ふれあいの郷で藍の種を使ったお菓子づくりや染料づくりも行っている。

また、地元のもので染物をしたいという思いから、(株)タカノとコラボしてエリアンサスで染物をしたり、桜の木の苔から染物(ピンク色)等にも取り組んでいます。

今後は藍の栽培体験や藍染体験を通した街コンの開催や早乙女の桜並木の再整備で伐採したものから付加価値のある染物にも挑戦したいと話していました。



▲ハウスで乾燥させた藍の葉を集める作業



▲乾燥させた藍の葉を叩いて細かくする作業

—next time—

次 回

12月19日にセブンハンドレッドクラブで開催される『ゴルフでもゴルフじゃなくともちょうどいい!!セブンの森～冬のスポーツ祭典～』に参加予定です。

【問】総合政策課 市民活躍推進係